

# 「乾癬に対する生物学的製剤治療が肝線維化指数に与える影響の解析」 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部皮膚科学講座は以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2023年11月6日 ～ 2028年3月31日

## 〔研究課題〕

乾癬に対する生物学的製剤治療が肝線維化指数に与える影響の解析

## 〔研究目的〕

当院にて乾癬に対して生物学的製剤を使用した患者の肝臓の線維化の程度を評価し、生物学的製剤投与開始後に改善を認められるのかを明らかにします。

## 〔研究意義〕

乾癬患者は健常者と比べて、糖尿病 1.71 倍、脂質異常症 2.73 倍、高血圧 2.03 倍とメタボリックシンドロームに関連する疾患との合併率が高いことが報告されており、メタボリックシンドロームを呈していない患者と比べると乾癬治療後の予後に影響を及ぼします。生物学的製剤の使用が、肝臓の線維化の改善に影響するのであれば、乾癬患者の予後の向上に影響する可能性があります。

## 〔対象・研究方法〕

帝京大学医学部附属病院皮膚科にて、尋常性乾癬、乾癬性関節炎、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症のいずれかの診断が確定し、2010年1月から2023年8月までに、乾癬に対して、TNF- $\alpha$ 阻害剤、IL-17阻害剤、IL-23阻害剤を投与された患者さん計約400名を対象とする予定です。肝線維化に関する採血の数値データ、生物学的製剤投与前の年齢、身長、体重、糖尿病の既往の有無をカルテから遡って収集します。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部皮膚科学講座

責任者：主任教授 多田弥生

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は厳重に管理されます。学会や論文など学外へ情報を発表する際には個人が特定されないように情報の加工を行うため、患者様が特定されることはありません。データの保管は研究終了後、帝京大学臨床研究センターにて10年間とし、その後は破棄を行います。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

## 問い合わせ先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

研究分担者：大学院生 竹島良輔、准教授 鎌田昌洋、講師 石川武子、講師 田中隆光、

講師 林耕太郎、臨床助手 内田秀昭、臨床助手 江川昌太、員外助手 渡辺愛友、

員外助手 伊藤誠時、シニアレジデント 鈴木翔也

所属：帝京大学医学部附属病院

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211

(代表) [内線 32610]